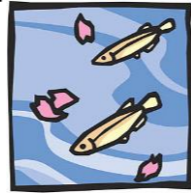


はじめの一步



新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 112 (令和6年1月10日)

高等部後期現場実習・校内実習

高等部では、令和5年11月6日(月)から12月1日(金)の4週間、現場実習、校内実習を行いました。今回もたくさんの事業所様から御協力いただきありがとうございました。

＜後期現場実習協力事業所＞

(株)栄工舎 (一財)魚沼市立小出病院 (株)ゆのたに (株)カイセ工業 (株)サカキヤ
(株)三国東洋 ◎ヤンマーアグリジャパン株式会社 ハローワーク小出 魚沼市立小出郷図書館
県立小出特別支援学校 魚沼市立宇賀地小学校 ◎魚沼市立伊米ヶ崎保育園 (株)魚沼さわび苑
魚沼更生園 やいろの里 なないろ 堀之内工芸 ひろかみ工芸 湯之谷工芸 わかあゆ社
ワークセンターあんしん ハーモニー なごみの家 ひかり工房 まきはたの里

◎は新規実習協力事業所

保護者の皆様からの実習アンケートより、「実習を通して見られたお子さんの成長」、「保護者様が学んだことや感じたこと」を御紹介します。



【お子さんにどんな成長が見られましたか】

- ・自分で次の日の準備などするようになった。(3)
- ・自分で時間を見て行動できるようになった。(2)
- ・職員の方がいなくても、やることを理解し作業ができるようになった。さらに新しい作業も理解してきちんとできた。家庭でも新しいことに対する対応力が上がり、それが外でもできていることに驚いた。
- ・乗合タクシーの降車場所が予定していた場所と違ったが、事前に下見をしていたため、迷子にならずに実習先に行けた。「何事にも準備が大切」と本人も気づいたことがよかった。
- ・実習前から、自主的に家事などを始めることが多く見られた。
- ・毎日本人を見ていたら、本当に就職して働いているように思えた。
- ・場の空気に合わせ楽しめていた。
- ・初めての实習だったが、本人は落ち着いてでき、「大変だったけど楽しかった」とうれしそうだった。それが自信にもなり、「また行きたい」と言っていた。
- ・風邪が治らなく辛いときもあったと思うが、嫌がることなく毎日通いよく頑張ったと思う。
- ・自分にとって不得意なことが分かるようになった実習だったと思う。
- ・現場実習では、体調が悪くても頑張っていこうとする姿に成長を感じた。校内実習では、集中して作業をすることができた。
- ・実習当日の朝、「身だしなみのチェックをしてほしい」と声掛けがあり大変驚いた。学校で事前指導等をたくさんしていただいたお陰と感じている。
- ・職場の方と仲良くでき、仕事のミスもしなかったのととてもよかった。
- ・目標をもって最後まで頑張り抜いた。作業内容がいくつか変わったが、大きなトラブルもなく概ねよくできていた。

- ・今までされることのなかった指示や求められることのなかった理解、たくさんの人生勉強をさせていただいた。たくさん刺激があり、とつても成長した。以前は注意されるといらつくことがあったが、実習後はすぐ気を取り直し「すみません」と言えるようになった。
- ・自分でイメージしていたものがあり、実際経験してみて色々なことを感じた実習だったと思う。将来のことを考える第一歩を踏み出したように感じる。
- ・日常とは異なる環境で作業が出来たことは自信になったと思う。
- ・疲れた様子でいつもより早く休んでいた。
- ・昼食は先方の方と一緒にのお昼をいただき、苦手なものでも全て食べていた。
- ・いつもと違うスケジュールやルーティンにも本人なりに切り替え、実習をすることが出来るようになった。回数を重ねたことで、建物や支援者にもスムーズに順応できていた。家庭でも混乱することなくいつも通りに過ごすことが出来た。積み重ねの大切さ、じっくりと取り組み本人に知ってもらふ事の大切さを感じた。
- ・初めての作業でも、指示を聞いて支援のもと取り組むことができた。事前に決めた目標を日々繰り返すうちにできるようになっていった。根気強く最後まで作業を続けられたことも成長のひとつ。
- ・早寝早起きなどの体調管理、仕事に必要なことについて自ら考えて行動していた。



【保護者の方が学んだことや感じたこと】

- ・実習先の方から、「1年、2年、3年と年々成長が見られた」というお話をいただき、とてもうれしく思った。
- ・色々な体験をさせてもらい、入学時に比べ成長を感じている中で、一人暮らしも選択の一つと思い始めた。まだまだ夢のようなことだが、親は挑戦させたいと思っている。
- ・家庭では「できる」と思っていることも、一般社会では「できる」のうちに入らないことも多いと感じている。誰かのサポートがあつての「自立」であると改めて感じた。
- ・就職は本人の行きたいところにするのがいいと改めて気づかされた。
- ・時々大声が出たりするが、それを踏まえて受け入れてくれるところがあればいいなと思っている。
- ・自分で気持ちを伝えることは大切だと思った。
- ・自分で考えて決めた事ややりたい事、できる事が合えば、最後までやり通すことができるのだと改めて感じた。
- ・本人にとって難しいことが分かったので、家庭でもできそうなことは練習させたいと思った。
- ・実習時の本人の様子から、企業就労の難しさを痛感した。
- ・本人が学校を卒業し新しい人生を歩んでいくのだなと実感した。親が心配する以上に、本人は緊張していると思うが、実習期間を無事に終えることができたことに成長を感じた。
- ・卒業すればもう大人で、成長もここまでなのかと思っていたが、そんなことはなく、「まだ成長してくれる」と思った。小さい頃から成長が“ゆっくり”だったので、その分長く成長を続けていくのかなと思えるようになった。
- ・ほんの一部ではあるが課題が見えてきた。現場実習でなければ知ることができなかつたので、良い経験ができた。
- ・コミュニケーションが大事ではあるが、慣れない環境だとそのツールが限られており、「伝える」ということが難しい。自信をつけて、少しずつでも行動できるとよいと思った。
- ・子どもの目標が「素直にアドバイスを受け入れる」であることを知り、職場での自分自身の目標を子と同じに設定して勤めてみた。意外と守ることが難しかった。しかし、他者のアドバイスを一旦肯定して受け入れることで、人間関係が円滑に進むことが実感できた。また、アドバイスしてくれた私自身のことをより良くしてくれようと好意的なはずであり、そのことに感謝する気持ちも大事であることも勉強できた。子どもにもその旨を話していけたらと思う。
- ・社会に出るまでの道のりは、今から少しずつ歩んでいかないといけないと思った。

- ・早い段階から施設入所を希望していたが、魚沼市内や県内の入所施設、どこも職員の人手不足や利用者の高齢化や現在の利用者の対応で手一杯の状況であり、申込みすら受けてもらえない現状であった。体験が必須であったり、短い期間でできることではなく、もっと早い段階から相談員とタイムスケジュールを共有しておくこと、親が地域の実情や状況について情報収集しておく事の大切さを感じている。また、行政とのやり取りが多くなるので、ここもお互いの理解が必要と思う。
- ・卒業後の生活をイメージすることができた。
- ・毎日嫌がる様子もなく、逆に張り切った様子で事業所に通うことができ、初めてのところでも対応できる力があると思った。



次に、現場実習先からのアンケートより、「生徒の様子から感じたこと、生徒に求めたいこと」「保護者の対応で感じたこと、家庭に求めたいこと」を御紹介します。

【生徒の様子から感じたこと、生徒に求めたいこと（実習協力事業所より）】

- ・真面目に取り組んでいただいていた良かった。(5)
- ・挨拶や返事をしっかり言えていた。(3) 今後も日常の中で継続して行ってください。
- ・実習に来るなら一生懸命頑張ろうという気持ちで実習に取り組んでもらいたい。(2)
- ・身だしなみがきちんとしていて良い印象をもった。
- ・問い掛けに対し、時間はかかっても自分の考えを言えていた。
- ・声が小さく聞こえない場面が多かった。
- ・今回の実習をきっかけに「働くとは」と考えるきっかけになってくれたらうれしい。
- ・真面目なこと、丁寧なこと、細かい作業ができること。
- ・挨拶返事ができる、仕事を頑張りたいという意欲、協調性や人間関係を築けること。
- ・学校で様々な清掃場所を一人でできるようになってほしい。
- ・「指示がなくても業務ができる。」「状況を見て自分で判断し業務ができる。」「余暇の過ごし方。」「
- ・実際就業となると、周りの対応も厳しくなる。就業後、職場という環境にも慣れて行ってほしい。

【保護者の対応で感じたこと、家庭に求めたいこと（実習協力事業所より）】

- ・実習ノートに家庭での様子を細やかに書いていただきありがたかった。(5)
- ・体調管理に努めていただきありがたかった。(2)
- ・活動の様子を見に来ていただき、事業所を知ってもらえて良かった。
- ・御家族の躰、身だしなみ等しっかりされていると思った。
- ・家庭での過ごし方などとても前向きにお子様を支えてくださった。また、実習前には、通勤練習等こちらが提案したことには積極的に取り組んでくださった。
- ・送迎対応されていたこともあり、直接情報共有できる場面が多くよかった。
- ・求めることは、規則正しい生活と健康管理。身だしなみを整える。
- ・トイレ掃除や階段掃除など様々なお手伝いをさせてほしい。
- ・リフレッシュできるような余暇の過ごし方を検討してほしい。



保護者の皆様には、実習ノートへの御記入、お弁当作りや体調管理等御協力いただきありがとうございました。また、お子様の実習先へ見学に行ってください、その様子を御家庭と学校とで共有できたことをありがたく思います。今後のお子様の進路選択に生かしていきたいと思っております。

～御案内～

<PTA 進路研修（1月の進路教室）について>

参加希望の方は、1月16日（火）までに、別紙（1月9日配付）の参加希望書を御提出ください。

内 容	障害基礎年金について ～長岡年金事務所 様 より～
日 時	令和6年1月26日(金) 13時30分から14時45分まで (受付13:15より)
会 場	小出特別支援学校 体育館または音楽室 ※参加人数により場所を決定
概 要	子どもの将来に向けた情報を得ることを目的に、講師様より障害基礎年金について御講話いただきます。その後、質疑応答の時間もあります。

当校のホームページを是非、御覧ください。 URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/>

お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部 TEL 025-792-5412